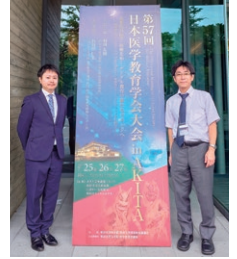


## 学会発表・講演 第57回日本医学教育学会大会

2025年7月25～27日に秋田市で第57回日本医学教育学会大会が開催されました。大会テーマは『次世代の医学・医療を拓くデジタル教育の新たなステージへ』で、AIやICT関連のセッションも多く企画されました。宮崎大学の本センターからは、

- 小松弘幸：『臨床教育のデジタル化 ～コロナ禍の学生臨床実習から学んだ教訓と生涯教育への応用』（シンポジウム）、『研修プログラム立案の理解促進を目的とした「Myミニカリキュラム作成」の試み』（シンポジウム）、『地域枠入試制度とアウトカム』（シンポジウム）、『コアカリ活用促進Webサイト「コアカリナビ」の動画教材を用いた初年次医学生教育』（一般口演）
- 黒木純：『宮崎大学医学科3年生における地域枠、一般枠入学学生のキャリアイメージと全国との比較』（一般口演）
- 明利聡留：『小児科臨床実習におけるシナリオ付きタスクトレーニングの導入とその教育的効果』（一般口演）

について、宮崎大学での医学教育の取り組みを踏まえて、それぞれ発表しました。（小松）



## 学会講演 第168回日本獣医学会学術集会

2025年9月3～6日に宮崎市で第168回日本獣医学会学術集会が開催されました。

大会テーマは『新時代の獣医学』で、宮崎大学農学部獣医学科主催のもとシンポジウムや各分科会で活発な発表・議論がありました。第1日目の獣医学教育改革シンポジウム『新しい獣医学教育—生体を用いない獣医学実習と産業動物の参加型臨床実習—』では、本センターの小松弘幸教授が『医師養成におけるシミュレーション教育の現状～See one, Simulate one, Do one, Teach oneの実践を目指して～』のテーマで基調講演を行いました。

医師と獣医師の教育や養成には共通課題も多く、総合討論ではフロアから多数の質問があり、活発なシンポジウムとなりました。

## 受賞講演 第4回全学FD/SD研修会



令和6年度の宮崎大学教員教育活動表彰を受賞したことに伴い、2025年11月17日に開催されました宮崎大学の令和7年度全学FD/SD研修会にて『医学部における医学教育の新たな試み』と題して講演を行いました。

本講演では、主に医学科地域枠入学生への取り組みと、小児科臨床実習における取り組みの2点について報告しました。地域枠学生に対しては、『ひむか塾』等を通じたキャリア教育や実践的なハンズオン実習について紹介しました。また、小児科実習において

は、学習成果としてのコンピテンシーを明示した教育への移行や、指導の標準化、シミュレーターを活用したタスクトレーニングの導入について解説しました。今後も他学部の取り組みを参考にしつつ、医学教育の更なる向上に尽力してまいります。（黒木）



## 発表報告 倫理・プロフェッショナリズム ワークショップ2026 (白浜記念カンファレンス)

2026年3月1日開催の「倫理・プロフェッショナリズムワークショップ2026(白浜記念カンファレンス)」にて、『宮崎大学における「プロフェッショナリズム教育の現状と課題」』と題して報告を行いました。

本発表では、本学の取り組みとして、1年次からの早期曝露とスパイラル構造を取り入れたカリキュラムや、私が医学科5年生のクリニカルクラークシップで行っている自己省察・メタ認知を重視した能動的学習について紹介しました。具体的には、変容的学習やProfessional Identity Formation (PIF)といった教育理論を背景に、グループワークや自己学習を通じて、学生各自に振り返りと自己省察を促す手法について発表しました。

今後は、臨床医学講義への統合やシミュレーション教育の導入等を通じて、卒前教育全体での切れ目のないプロフェッショナリズム教育の充実に取り組んでいきます。今後は、臨床医学講義への統合やシミュレーション教育の導入等を通じて、卒前教育全体での切れ目のないプロフェッショナリズム教育の充実に取り組んでいきます。（黒木）

## 発表報告 医師を目指す学生のためのキャリアセミナー



2025年11月26日(水)に清花アテナDEI推進室主催の「医師を目指す学生のためのキャリアセミナー」に、当センターの医療人キャリア支援部門として登壇いたしました。本セミナーは、仕事とプライベートの両立に不安を抱く学生が先輩医師の経験や働く現場の現状に触れ、将来像の解像度を高めることを目的に開催されました。学生とのテーブルトークとパネリストによるトークセッション(質疑応答)を組み合わせた構成で、私は当院における男性医師の育児休業取得をテーマに話題提供を行いました。各テーブルで活発な意見交換が行われ、他のパネリストからは夫婦でのキャリア形成や職場での助け合い・支え合いの工夫などが共有され、参加学生は自身のありたい医師像を考える貴重な機会となりました。（明利）



## 実践報告 第92回医学教育セミナー & ワークショップ

2025年11月27～28日に鹿児島市でMEDC(医学教育共同利用拠点 岐阜大学医学教育開発研究センター)が主催する第92回医学教育セミナー&ワークショップが開催されました。この中で、本センターの小松弘幸先生がWS3『ユニットの会～地域医療と全国協働を考える集い(九州ブロック)』を主担当しました。WSには九州内の各大学医学部から本センター教員を含む12名の参加があり、九州管内での共通課題を探り、課題解決のための協働・共創の可能性を具体化するグループワークが実施されました。全体発表・討論も大いに盛り上がり、今回のWSを契機に九州内11大学医学部で新たな医学教育担当者ネットワークの構築を進めることになりました。



## 県内高校への出前講義

2025年度も本センター教員が県内高校で宮崎大学医学部の紹介等を兼ねた出前講義を行いました。

- 7月18日:宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校(担当:黒木純先生)

### 講演テーマ

医師を目指すみなさんへ～医師のキャリア・必要な資質とは～

- 10月23日:宮崎県立高千穂高等学校(担当:小松弘幸先生)

### 講演テーマ

『医師を目指すみなさんへ～ ①医師になるために必要な資質とは? ②宮崎大学医学部地域枠入試制度のご紹介』

- 12月1日:宮崎県立宮崎大宮高等学校(担当:黒木純先生、中村佳菜子先生)

### 講演テーマ

①医学部で学ぶこと ～医師になるために必要なこと～  
②宮崎大学医学部医学科地域枠入学制度



宮崎県立高千穂高等学校



宮崎県立宮崎大宮高等学校

## 臨床医学教育部門 東京慈恵会医科大学とのweb合同授業(医学・医療概論)



2025年6月18日、本学1年生対象の医学・医療概論第8回目において、宮崎大学医学部医学科・看護学科1年生と東京慈恵会医科大学医学科1年生をオンラインで繋ぎ、合同授業を実施しました。本授業は文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」の一環として行われたもので、両大学をWebで中継し、90分間にわたり実施されました。

宮崎出身であり東京慈恵会医科大学の創設者でもある高木兼寛先生という共通の歴史的つながりが、両大学連携の基盤となっています。

当日は、まず合同授業の経緯と趣旨を共有し、その後、高木兼寛先生の生涯に触れながら医療者の在り方を考える講義を行いました。続いて両大学それぞれ

グループによる討議・意見交換の時間を設け、医療における科学と人間理解、医療者として大切にしたい姿勢について活発な対話が交わされました。最後に「KANEHIROプログラム」の紹介が行われ、今後の大学間交流や実習へとつながる学びの広がりが示されました。

地理的に離れた両校が共通の源流を軸に学びを共有する、意義深い機会となりました。(安倍)



## 医療シミュレーション教育統括部門

### 全職員BLS講習会〔スタンダードコース〕

令和7年度も、医師・看護師を対象としたBLS(Basic Life Support: 一次救命処置)講習会(スタンダードコース)を月1回の頻度で開催しました。毎回10名前後に受講いただき、急変した患者への対応を想定して、シミュレーターを用いた実技講習(胸骨圧迫、バグバルブマスク換気、AED操作)を実施しています。毎回、参加者から積極的な質問があり、手技を確認するよい機会となっています。(中村仁)



### 全職員BLS講習会〔ベーシックコース〕



令和7年5月26日、6月23日、11月17日の計3回にわたり、全職員BLS(Basic Life Support: 一次救命処置)講習会(ベーシックコース)を開催しました。宮崎大学医学部の体育館を会場に、第1回54名、第2回38名、第3回39名、

合計131名の当院職員(医師・看護師を除く)に受講していただきました。宮崎市消防局の消防士の方々にインストラクターとしてご協力いただき、6～7ブースに分かれ、シミュレーターを用いて実技講習(胸骨圧迫、AED操作など)を行いました。受講生から多くの質問があり活発で有意義な講習会となりました。(中村仁)



### イベント紹介

## 医学生・研修医のための呼吸器診療ABC



2025年10月18日(土)、臨床技術トレーニングセンターで「医学生・研修医のための呼吸器診療ABC」を開催しました。参加者は研修医14名、医学生8名の計22名でした。午前中は講師陣によるチーム制クイズ大会、午後は呼吸機能検査や気管支鏡検査などの実技体験を行い、会場は終始にぎやかな雰囲気でした。本セミナーは、日本呼吸器学会九州支部のサポートのもと九州各大学で開催され、宮崎大学では2014年にスタートし、今回で11回目を迎えました。呼吸器に興味をもってもらうことを目的とした毎年恒例の企画です。宮崎の医学生はもちろん、宮崎大学以外で研修中の先生方も参加可能です。来年度の皆さんのご参加お待ちしております!(柳・北村)



## 宮崎県キャリア形成卒前支援プラン

### 令和7年度地域医療支援機構大学分室活動報告

1年

2

3

4

5

6

#### 1 地域枠全体ミーティング

令和7年度は、第1回を6月11日に開催しました。学生167名、関係者19名が参加し、「地域の願い、医療の未来～医学生への期待～」と題して、県立日南病院副院長の木佐貫篤先生、にちなん医療市民サポーターズにご講演頂きました。後半では、学生のアンケートや質問をもとにお話し頂き、地域の課題、地域住民の方々の想いに触れることができ、我々も非常によい学びになりました。

第2回は12月22日に開催しました。学生131名、関係者25名が参加し、「将来のキャリアプランを考えよう～未来の自分たちに、会いに行く。迷いも悩みも、今のうちにシミュレーション。～」と題したグループワークを行いました。架空の先輩になりきって先輩のライフプランとキャリアを考える初めての試みでしたが、自分の将来を考える上でよい機会になったと思います。また、グループワーク後は学生食堂で交流会も行い、非常に有意義な意見交換もできました。

第1回、第2回ともに医学部長の盛武浩先生、病院長の賀本敏行先生、宮崎県医師会常任理事の大塚康二郎先生をはじめ、宮崎県庁からも多数の関係皆様にご出席いただき、この場を借りて深く感謝申し上げます。



#### 2 地域医療ガイダンス

キャリア形成卒前支援プランとして、通常の大学教育カリキュラムの他にこのような「卒前支援プロジェクト」を行っています

#### 3 未来の医療を語るオール宮崎交流会

#### 5 宮崎県専門研修プログラム合同説明会

#### 4 県内基幹型臨床研修病院説明会

#### 6 宮崎大学キャリア形成セミナー（ひむか塾）

令和7年度は、キャリア教育は計7回（医師全般、呼吸器内科、心臓血管外科、医療の将来、皮膚科、循環器内科、放射線科）開催し、計484名の学生が参加しました。

講師をして頂いた先生方、お忙しい中ありがとうございました。参加した学生は、自分の将来についてこれまでよりイメージがわいたことと思います。実践編・基礎編は14回開催し、計101名の学生が参加しました。BLS実習をはじめ、VRゴーグル等を使ったハンズオンセミナーも初開催しました。

学生のニーズを聞きつつ、今後も新しい教育手法も積極的に取り入れていきたいと考えています。



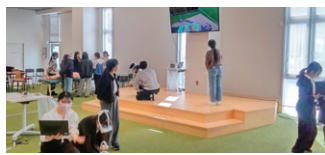
#### 7 KANEHIROプログラム※

現在、東京慈恵会医科大学と交換実習を行ったり、協同でVR/MRコンテンツを作成し学生教育に使用、また、遠隔でのシミュレーション教育などの連携を行っています。

令和8年3月8日に、一般公開シンポジウムで中間報告会を行いました。高校生を中心に123名が報告会に第1部では東京慈恵会医科大学との交換実習について医学科5年生の宮本さん、吉田さんに発表してもらい、地域枠学生に対するの現在の取り組みも報告しました。

第2部として参加者に、実際のシミュレーション教育を地域枠学生が指導者として参加者に指導してもらいました。初めての試みでしたが、教える側としての立場で学ぶことも多かったことと思います。

※文部科学省公募事業「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」として「地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる医師養成モデル事業～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～」が採択され、東京慈恵会医科大学との単位互換制の交換実習や、教育の連携を行いながら医師養成に努めています。



#### 8 キャリア支援のための面談

令和7年度は、1年生40名に対してグループ面談を行い、3年生39名、5年生17名に個別面談を行いました。それぞれの悩みや将来の考えについて、分室医師と面談することでよい方向に進んでくれることを願っています。今後も我々分室医師は、制度については正確かつ、迅速に学生の皆さんに伝えるとともに、ひとりひとりに寄り添った対応を心がけていきます。



## 宮崎から医師を目指そう!応援フォーラム



2025年10月12日、ニューウェルシティ宮崎にて「宮崎から医師を目指そう!応援フォーラム」を開催しました。

第1部では、医療人育成推進センターの小松弘幸教授より医師のキャリア全体像をご講演いただき、続いて宮崎大学医学部の山内天翔さん、木藤侗師さん、宮本康靖さんから受験や学生生活について経験を交えてお話しいただきました。

第2部では、緑・在宅クリニックの岩谷健志先生、県立延岡病院の金丸勝弘先生より、県外での研鑽を経て宮崎に戻られた経緯と地域医療への思いをご講演いただきました。

第3部では、地域枠入試制度および宮崎県キャリア形成卒前支援プラン・キャリア形成プログラムについて説明しました。



第4部では、第1～3部の登壇者に加え地域医療支援機構 大学分室の医師を交えて質疑応答を行い、進路選択、受験勉強の工夫、医学部での学び、働き方、地域医療の魅力など多岐にわたる質問が寄せられました。

本フォーラムが、医師を志す皆さんの進路選択の一助となれば幸いです。今後も、医師を目指す皆さんの一歩を後押しできる取り組みを続けていきます。(宮本)

※第2部のみ動画配信を行っています。こちらから視聴できます。▶<https://www.med.pref.miyazaki.lg.jp/>



## 令和8年度宮崎県地域枠合格者説明会・キックオフミーティング

2026年3月14日に宮崎県防災庁舎で地域枠合格者説明会・キックオフミーティングが開催されました。地域枠合格者説明会では、宮崎大学地域枠と長崎大学宮崎県枠の新入生および保護者を対象に各種制度について説明がありました。キックオフミーティングは自治医科大学新入生も交えて行われ、河野俊嗣宮崎県知事の祝辞に始まり、新入生代表より「こんな



医師になりたい宣言」がありました。また、椎葉茂樹先生からの地域医療講話や「宮崎の医療をよくするために自分は何ができるか～学生時代にやるべきこと、できること～」をテーマとしたグループワークも行われました。志を同じくした新入生の入学を心より嬉しく思い、地域医療支援機構大学分室としてしっかりサポートしていきたいと思えます。(中村佳)

## 第6回全国キャリア形成プログラム研修会

2026年1月24日に福岡で開催された第6回全国キャリア形成プログラム研修会にて、「宮崎県におけるキャリアコーディネーターと都道府県と大学病院の連携」と題して、宮崎県キャリアコーディネーターとして発表をさせていただきました。



本県の医師不足、医師偏在の課題に対し、行政、医師会、大学が密に連携して、地域枠を中心に教育活動を進めている現状を報告しました。具体的には、大学内に常駐するキャリアコーディネーターによる地域枠学生への密なフォローや、卒前の「キャリア形成卒前支援プラン」から卒後の「キャリア形成プログラム」までを同一組織で一貫支援する体制について説明し、参加者からは本県の取り組みに対して大変良い評価を頂きました。今後は一般枠学生への支援拡充やプログラム修了医師へのサポートも検討しており、本学の医学教育の向上に一層取り組んでいきます。(黒木)

## 医学生サポート事業～東京慈恵会医科大学との交換留学報告～

医学生サポート事業(東京慈恵会医科大学実習経費支援補助)を活用して、令和7年度も11名の地域枠学生が実習に参加しました。

今回は、令和7年11月17日～12月12日に小児外科の臨床実習に参加した医学科5年の宮本さん、令和8年1月5日～1月30日に内視鏡部の臨床実習に参加した林さんからメッセージをいただきました。(舟橋)

### 医学科5年 宮本 貴由樹さん



私は小児外科で1ヶ月間実習しました。尿道下裂や鼠径ヘルニア等の手術見学に加え、手洗いに入る貴重な経験もできました。NICUでの重症症例への緊急手術や、剖検の立ち会いを通じ、外科的判断の難しさや命の重みを深く学びました。

休日は先生方のおすすめスポットを巡ったり、山手線を歩いてみたり、実習外でも充実した毎日を過ごすことができました。

小児外科に興味がある方もそうでない方も、ぜひ行ってみてください!

### 医学科5年 林 麻璃さん



私は内視鏡部で実習をさせていただきました。

内視鏡の実施件数が非常に多く、検査だけでなく治療内視鏡も含めた幅広い手技を見学することができ、内視鏡診療の奥深さを実感しました。また、シミュレーターを用いて胃カメラの練習をさせていただき、スコップ操作の難しさと同時に、その面白さも体感することができました。

通常の実習とはまた違った学びを得られる貴重な機会ですので、ぜひ行ってみてください。

## みさと地域医療塾



2025年11月22日に美郷町での医療塾に参加しました。

今年度のテーマは「地域医療クロニクル」で、宮崎県福祉保健部衛生技監の椎葉先生の基調講演の他、自治医科大学卒業医師の黒木琢也先生や北浦診療所所長の日高利昭先生、美郷町地域包括医療局の土田友喜氏よりこれまでの軌跡についての発表がありました。各機関からの報告の場では、地域医療支援機構大学分室から「宮崎県キャリア形成卒前支援プランおよびキャリア形成プログラムの進捗状況」を報告しました。

また、今回は宮崎大学の地域枠学生10名も現地にて参加しました。医療者・行政・市民とそれぞれの視点から地域医療を見つめるこの研修会は、地域医療について深く考える良い機会になりました。(中村佳)



## 新任紹介

### 救急科 中村 仁彦

救急科の中村仁彦と申します。3年ぶりに当院に戻ってきたタイミングで医療人育成推進センターの一員としても復帰させていただきました。当センターでは主にシミュレーション部門を担当しております。他大学で卒前卒後の教育に携わった経験を活かしていきたいと思えます。



## 宮崎大学医学部医療人育成推進センター

〒889-1692 宮崎市清武町木原5200番地

TEL:0985-85-8305 FAX:0985-85-7239 E-mail:ikyoku@med.miyazaki-u.ac.jp

医療人育成推進センターホームページ <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/iryujin/>



(HP)